

Warning

宮崎県で 高病原性鳥インフルエンザの 疑似患畜を確認！(家きん13例目)

各地で
続発！

【概要】農場から通報、簡易検査及び遺伝子検査で陽性

・1月2日 宮崎県延岡市 肉用鶏飼養農場 約 6,000羽

【野鳥における事例も増加】

・陽性確認：1道10県64例(野鳥53例、環境試料11例)

北海道・宮崎県・山形県・鹿児島県・新潟県・福岡県・群馬県・福島県・大分県・高知県・徳島県で陽性事例確認

～例年、1月は発生のトップシーズン！気を引き締めて～

自己点検の実施と毎月の報告、
不備があれば早急な対応をお願いします！

飼養衛生管理の基本的な管理項目を毎月点検・改善しましょう！

▶人、物、車両の入出時対策

- ・衛生管理区域専用の衣服や靴の使用
- ・着用の前後で交差のない動線、および明確な境界を確保
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施
- ・家きん舎ごとの専用の靴の使用
- ・侵入防止対策を出入りする関係者へ周知徹底

▶野生動物の侵入防止、誘引防止

- ・畜舎の壁、防鳥ネット等の破損修繕
→特にカラス、イタチ等の侵入防止を！
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に覆いを設置
- ・たい肥舎への防鳥ネット設置
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など誘引を防止
- ・隠れ場所を作らない(整理整頓・草刈り)



<高病原性鳥インフルエンザの症状>

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| ・肉冠や肉垂が紫色になる | ・出血、壊死 | ・顔面の腫れ、むくみ |
| ・産卵低下または停止 | ・神経症状、下痢等 | ・高い死亡率 |

少しでも異常を感じたら早期通報をお願いします！

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/tori/index.html>

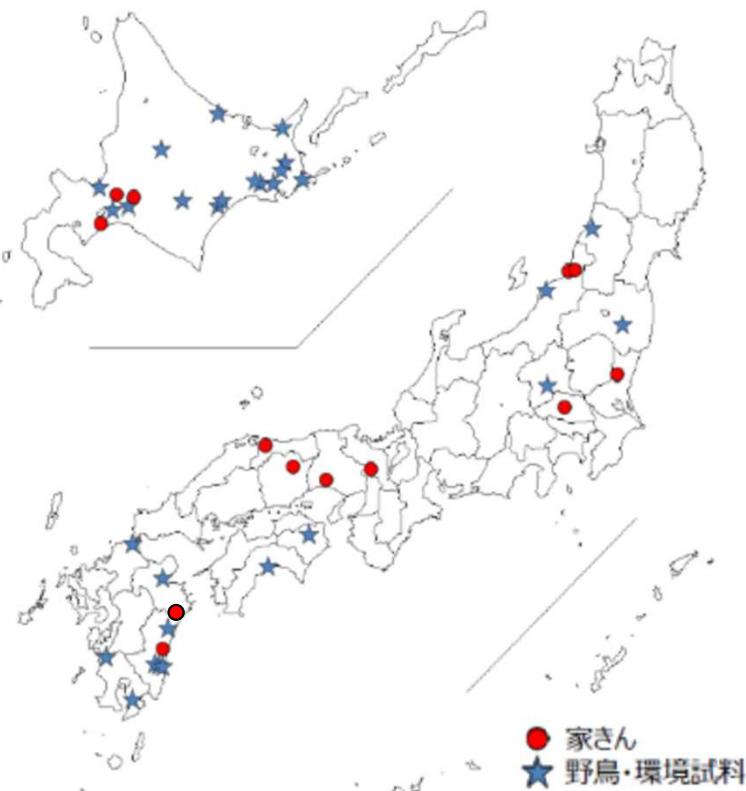
Warning

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

令和7年シーズンの発生状況

これまでに13事例約390万羽が殺処分の対象に



※ 疑似患畜確認時の羽数

地域 判定日	用途	疑似患畜		亞種
		羽数（約）		
1 北海道白老町 10/22	採卵鶏	45.9 万羽		H5N1
2 北海道恵庭市 11/2	採卵鶏	23.6 万羽		H5N1
3 新潟県胎内市 11/4	採卵鶏	63 万羽		H5N1
4 新潟県胎内市 11/9	採卵鶏	28 万羽		H5N1
5 宮崎県日向市 11/22	肉用鶏	4.8 万羽		H5N1
6 鳥取県米子市 12/2	肉用鶏	7.5 万羽		H5N1
7 兵庫県姫路市 12/16	採卵鶏	24 万羽		H5N1
8 岡山県津山市 12/20	採卵鶏	43 万羽		H5N1
9 京都府亀岡市 12/24	採卵鶏	28 万羽		H5
10 茨城県城里町 12/25	採卵鶏	97 万羽		H5
11 北海道由仁町 12/29	採卵鶏	0.6 万羽		H5
12 埼玉県嵐山町 12/30	採卵鶏	24 万羽		H5
13 宮崎県延岡市 1/2	肉用鶏	0.6 万羽		H5

予防対策の重要ポイント



- ①人・物・車両によるウイルスの持込み防止
- ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
 - ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用
 - ・上記措置の記録

②野生動物対策

- ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
- ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・上記措置の定期点検

周辺に水辺のある農場は
①、②の予防対策を徹底

リスクを減らす取組(季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張るなど)が効果的